

令和7年仕事納め式あいさつ

今年は、本町では、大きな災害はありませんでしたが、全国では大雪、林野・住宅火災、台風、そして先日の地震などにより、生命・財産を喪失するという災害がありました。また、一昨年からの物価高騰も続いた年でした。

昨年、鳥取県初の総理大臣が誕生しましたが、1年で終了したことは、日本にとっても北栄町にとっても残念なことだと思っています。

このような年ではありましたが、北栄町では、4月末にオープンした「道の駅ほうじょう」は、県内外から多くの利用者が訪れ、賑やかさを実感しているところです。町制施行20周年を迎える9月28日には記念式典を行い、これまでの歩みを大切にしながら、次の20年に向けた新たな誓いをしたところであります。

また、国の脱炭素先行地域に選定され、2050年の脱炭素社会の実現に向けた確かな歩みを開始したところです。そして、令和9年春の開館目標に、青山剛昌ふるさと館の新築移転工事も着手しました。飲食、民泊事業など次々に起業・創業され、地域の活性化も進んでいます。

そのような中、みなさんにはそれぞれの業務に邁進していただき、住民の相談などに親身になって、対応していただきました。みなさんのおかげで、令和7年の北栄町は概ね順調に進んでいったと思っています。

しかしながら、無くなってしまった病院、お店など、これまで受けていたサービスが提供できていないなど、解決にいたっていない問題もあります。引き続き、粘り強く対応していく必要があります。また、不適切な事務処理により、処分も行ったところです。今一度、基本的なこと、ホウ・レン・ソウ、報告・連絡・相談を徹底していただきたいと思います。

多くの職員は、明日から９連休となりますが、この期間中も勤務を行う職員もいます。お世話になりますが、よろしくお願ひします。また、時節柄、お酒を飲む機会も増えると思いますが、節度ある行動をお願いします。

来年は、午年です。情熱や変化を象徴する年だそうです。どうぞ、何事にも情熱を持って、変化を恐れずに成長する一年であってほしいと思います。

皆さんが令和8年の新春を健やかに迎え、新しい年が笑顔で満ちた年となりますよう、そして、1月5日には、皆さん元気で出勤していただきますよう祈念し、令和7年の仕事納め式のあいさつとします。

令和7年12月26日

北栄町長 手嶋俊樹